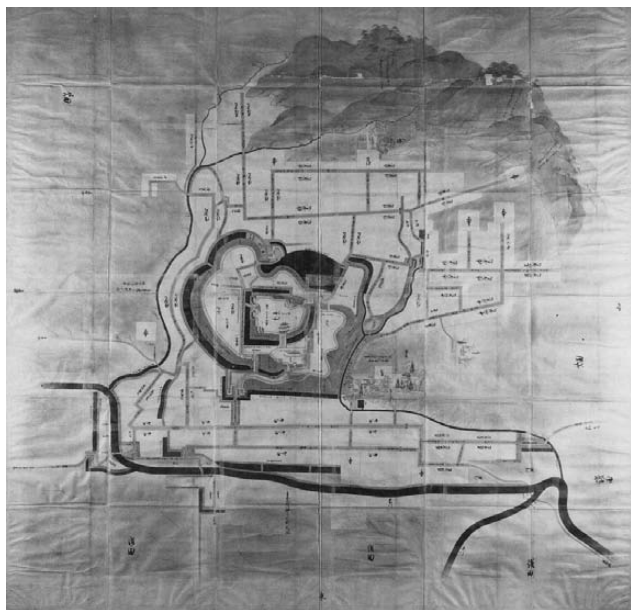


# おし ろ 「上山城」からのたより 冬 第80便

新年の皆様のご多幸を  
祈念申しあげます



国指定重要文化財「正保城絵図 出羽国之内上山絵図」国立公文書館所蔵

上山城の城郭絵図の原図は、徳川幕府が正保元年（一六四四）に軍事上の機能を幕府が把握のために大名に絵図の提出を求め、当時の藩主土岐山城守頼行が幕府へ届けた「正保絵図」です。国立公文書館内閣文庫に所蔵（重要文化財）されています。

上山のお城はもと西方の虚空蔵山頂にありましたが、天文四年（一五三五）に天神ノ森といわれた現在地に築きました。月の池があったので月の岡城と呼ばれました。

城郭形成の縄張りは歴代の領主が手がけたようですが詳細記録は不明です。寛永五年（一六二八）入部した土岐山城守頼行により整備が進み万治二年（一六五九）に完了したとされています。

ただ、次代土岐頼隆が元禄五年（二六九二）二月に越前国今立郡野岡に転封すると、その三月に破却を命じられました。以降の領主は藩庁御館で政務を執り行いました。

この正保絵図は原寸大で上山城エントランスに展示され、縮尺絵図が販売されています。

江戸初期の上山城の骨格を眺めつつ来たる新年を展望したいものです。

原図は二三四センチ×二三四センチです。

（公財）上山城郷土資料館理事長 鎌上 宏